

## 加治屋安彦室長 他 第18回寒地技術シンポジウムで寒地技術賞を受賞

防災雪氷研究室

昨年11月25～27日に開催された第18回寒地技術シンポジウムにおいて、当所が開発をし、その後札幌開発建設部で実用化された「道路管理者間の冬期道路管理情報共有システム（ホワイトネット）」が寒地技術賞（計画部門）を受賞しました。

写真は、昨年のシンポジウムで論文発表を行った金田安弘氏（（財）日本気象協会北海道支社）と、連名者である金子正夫氏（札幌開発建設部）、そして当所の加治屋安彦室長（防災雪氷研究室）です。

ホワイトネットは、インターネットを介して北海道開発局や札幌市、北海道、JH北海道支社が札幌圏の道路気象情報や道路画像情報、通行規制情報、除排雪情報等をアクセス制限をかけたひとつのWebサイトにまとめ、各機関が自由に入力・閲覧できるようにしたものです。情報を共有することで、豪雪や吹雪時に各道路管理者が密接な連携が図れるようになりました。今回の受賞ではシステムの実用化による効果が高く評価されました。

（文責：福沢 義文）



寒地技術賞の受賞（左から加治屋，金田，金子）